



## 赤れんが博物館企画展「令和2年度新収蔵品展」の開催について

### 【1】企画展

- 1 名称 舞鶴市立赤れんが博物館企画展「令和2年度新収蔵品展」
- 2 趣旨 令和2年度に新たに収蔵した資料を展示します。
- 3 日時 令和3年3月5日（金）～5月9日（日）会期中は無休  
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 4 場所 舞鶴市立赤れんが博物館2階 特別展示室
- 5 入場料 常設展示と共通  
一般400円、学生150円  
市内在住または在学の学生は入館無料
- 6 主催 舞鶴市立赤れんが博物館
- 7 内容 展示点数 れんが18点（8ヶ所）
  1. 弘前れんが倉庫美術館れんが1点（青森県弘前市）
  2. 旧足尾銅山れんが2点、カラミれんが1点（栃木県日光市）
  3. 半田赤レンガ建物れんが1点（愛知県半田市）
  4. 京都府京都文化博物館別館れんが2点（京都府京都市）
  5. 中京郵便局旧庁舎れんが2点、屋根スレート1点（京都府京都市）
  6. 旧神戸外国人居留地煉瓦造下水道れんが3点（兵庫県神戸市）
  7. 倉敷アイビースクエアれんが2点（岡山県岡山市）
  8. カトリック黒島教会れんが3点（長崎県佐世保市）

### 【お問い合わせ先】

赤れんが博物館：☎ 0773-66-1095、FAX 0773-64-5123  
E-mail: [renga@city.maizuru.lg.jp](mailto:renga@city.maizuru.lg.jp)

## 【2】主な展示物紹介

### ・足尾銅山間藤水力発電所跡れんが

1890(明治 23)年竣工

235×118×60mm

3.0kg

栃木県日光市



足尾銅山は、徳川幕府の御用銅山として繁栄したが、江戸時代末期には衰退した。しかし、1877(明治 10)年に古河市兵衛が銅山を買収すると、近代的手法により富裕な鉱床を発見した。その後、産銅量の増加に対応して、我が国最初期の間藤水力発電所を建設し効率化を図るほか、製錬技術の近代化により生産性が飛躍的に向上し、東洋一の生産量を誇る銅山へと成長した。

### ・中京郵便局旧庁舎れんが

1902(明治 35)年頃竣工

226×107×59mm

2.4kg

京都府京都市



中京郵便局旧庁舎は、京都郵便電信局として、1902(明治 35)年に竣工した。赤れんがを基調に、建物の隅部や窓枠などに多くの石材を配したこの建物は、当時の代表的な郵便局である。1978(昭和 53)年に改築されたが、外壁を残したまま内部を現在の機能にあわせて新築するという日本で初めての外壁保存の事例である。使用のれんがは、渋沢栄一が設立に関わった日本最初の機械式れんが製造工場、埼玉県にある日本煉瓦製造株式会社製のれんがであり、西日本における使用は珍しい。

### ・旧神戸外国人居留地煉瓦造下水道れんが

1872(明治 5)年頃竣工

224×108×42~55mm

2.0kg

兵庫県神戸市



1868(慶応 3)年の兵庫港開港時、イギリス人土木技師ハートの設計監督のもと、神戸に外国人居留地の建設が始まり、1872(明治 5)年頃、れんが造りの下水道が完成した。近代下水道としては、横浜と並ぶ日本で最も古いものである。卵形管下水道に使用のれんがは楔型で、卵形管は3種類の曲率面からなり、どの位置に積むれんがであるかを「上」、「中」、「下」の刻印で示している。

## 【お問い合わせ先】

赤れんが博物館：☎ 0773-66-1095、FAX 0773-64-5123

E-mail: [renga@city.maizuru.lg.jp](mailto:renga@city.maizuru.lg.jp)